

地域がん登録と日本産科婦人科学会データを用いた 若年子宮頸癌の予後に関する研究

1. 研究の対象

2000年1月～2011年12月に当院で子宮頸癌の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

この20年間で日本女性の若年浸潤子宮頸癌の罹患率は約2倍、死亡率は30年で約3倍に増加している。日本では欧米先進国に比較し、子宮頸癌の罹患率が高いにもかかわらず予防対策が進んでいない。子宮頸癌検診の受診率は3-4割と欧米先進国の6-8割に比べ著しく低く、子宮頸癌予防ワクチンの普及も2013年より停滞している。若年に子宮頸癌が多いということは、女性の自己実現を阻むだけでなく、特に少子高齢化が問題となっている我が国にとって、その社会的損失は計り知れない。

子宮頸癌において日本産科婦人科学会腫瘍登録データと地域がん登録データの比較および、過去60年間の子宮頸癌に関連する臨床的要因の変遷を詳細に分析した研究は調べた限りでは公表されていない。加えて、過去数十年間の若年子宮頸癌の罹患・死亡増加にかかわる現象の臨床的要因もまた明らかになっていない。

本研究では

(1) 「多時点コホートによる時系列変化の検討」：

日本産科婦人科学会データおよび地域がん登録データを使用し、過去60年間における子宮頸癌の予後と臨床的背景の変遷を調査する。さらに若年に注目し、若年子宮頸癌の罹患・死亡の変遷に関連する社会的背景を探る。

(2) 「年齢と予後の関連についての検討」：

浸潤子宮頸癌における年齢と予後の関連について検討する。

これらのことが明らかになれば、本邦における子宮頸癌予防対策推進の鍵となる可能性がある。

研究期間：倫理審査承認後～西暦2021年12月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、予後情報 等

4. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータの提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は作成しません。

5. 研究組織

榑原 敦子	医学研究所北野病院 健診部・副部長	◎ 研究代表者：研究統括 ○プロトコル作成責任者：プロトコル作成、研究実施・運営に関する実務
樋口 壽宏	医学研究所北野病院 産婦人科・主任部長	婦人科腫瘍に関する学術的助言および支援
寺川 耕市	医学研究所北野病院 産婦人科・副部長	婦人科腫瘍に関する学術的助言および支援
片山 俊郎	姫路独協大学医療保健学部 臨床工学科・教授、医学研究所北野病院 研究支援センター 品質管理室・室長	○統計解析責任者 統計解析に関する実務・学術的助言および支援
松井 邦彦	熊本大学医学部附属病院 地域医療システム学講座・教授	○プロトコル作成責任者：プロトコル作成、研究手法・疫学分野に関する学術的助言および支援
小西 郁生	京都大学・名誉教授	婦人科腫瘍に関する学術的助言および支援、研究遂行にかかわる助言および支援
伊藤 ゆり	大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部・主任研究員	がん登録・研究手法・疫学分野に関する学術的助言および支援
内田 博之	城西大学大学院 薬学研究科 医療栄養学専攻・准教授	APC(age-period-cohort)解析に関する実務・学術的助言および支援
小田切 陽一	山梨県立大学大学院 看護学研究科 地域看護学領域・教授	APC(age-period-cohort)解析に関する実務・学術的助言および支援
宮崎 貴久子	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野・非常勤講師	研究実務の助言、研究手法・疫学分野に関する学術的助言および支援

中山 健夫	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系・専攻長、健康情報学分野・教授	研究手法・疫学分野に関する学術的助言および支援
-------	-------------------------------------	-------------------------

多施設共同研究「(2)年齢と予後の関連についての検討」

研究責任医師	職名	協力医療機関
巽 啓司	産科婦人科 科長	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
上浦祥司	婦人科 主任部長	特定機能病院/地方独立政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
山口 建	産科婦人科 病棟医長	独立行政法人国立病院機構京都医療センター
万代 昌紀	産科婦人科 教授	京都大学医学部附属病院
樋口 壽宏	産婦人科 主任部長	医学研究所北野病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 婦人科 上浦祥司

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院

検診部 副部長 榊原 敦子

以上